



コミュニティだより



発行 登米市吉田公民館

TEL:0220-55-2124

(指定管理者 吉田コミュニティ運営協議会) FAX:0220-55-4528

吉田コミュニティ運営協議会



高橋和恵氏 全国公民館大会で表彰

11月12日に開催された「全国公民館大会」において、吉田公民館の元事務員である 高橋和恵氏が参加され、長年のご尽力が高く評価されました。

高橋氏は、地域住民の学びや交流の場を支えるために誠心誠意取り組まれ、その功績により優良職員表彰、さらに 永年勤続職員表彰 の栄誉を受けられました。

高橋氏のご功績に心からの敬意と感謝を申し上げますとともに、今後も地域の皆さまと共に歩む公民館活動を一層充実させてまいりましょう。

キッズサークル 第3回楽習会(10月20日)

今回の移動楽習会は、仙台うみの杜水族館・おさかなミュージアム seri-miru・海鮮せんべい塩竈をめぐる“海づくしツアー”。

水族館では「うわ、こんな生き物いるんだ!」と驚きの声。グループごとの見学で、子どもたちは目を輝かせながら水槽に釘付けでした。ミュージアムでは寿司屋体験や原寸大のマグロぬいぐるみに抱きついて「でっかい!」と大盛り上がり。そして工場見学では、せんべいを手焼き体験。「3回焼いたよ!」と誇らしげな声も(^_^)

海の生き物、食文化、体験のすべてがぎゅっと詰まった一日。笑顔と発見がいっぱいの楽習会となりました。



男の料理教室 第3回学習会(10月29日)

今回の男の料理教室では、なんとポーク・チキン・ビーフの3種類のカレー作りに挑戦!講師の先生はあえて付けず、グループごとに「俺たち流」で調理開始。

玉ねぎを炒めながら「これで甘みが出るんだよな。」と真剣な顔、隠し味を入れるときは「ちょっと多めにしてみようか?」と冒険心もちらり。鍋から立ちのぼる香りに「もう食べたい!」と笑い声が広がり、完成した3種類のカレーを食べ比べると「こっちの方がコクがある!」「ビーフが隠し味のニンニクがきいていておいしいと!」と大人たちの熱い議論がスタート。最後は「家でも作ってみようかな。」と満足そうな声があがり、にぎやかで美味しい時間となりました。



裏面もご覧ください



女性サークル 第4回学習会（10月31日）

まきじゅん和あそび塾 千葉淳子氏を講師に迎え「あんこの和菓子作り」を開催。参加者は、練り切りを使って「花手毬桜」と「はさみ菊」の製作に挑戦！講師の先生が、白玉粉・砂糖・水で作った求肥と白あんを事前に準備して下さり、参加者はその求肥に着色を施し、白あんを包んで形を整えました。製作には三角棒や竹ようじなどの器具を使用し、細やかな作業に集中する時間となりました。

多くの方が初めての体験で、特に「はさみ菊」の花びらの形成には苦戦する様子も見られましたが、皆さん熱心に取り組み、色とりどりの可愛い和菓子が完成しました。「可愛くて、食べるのがもったいないね～！」という声もあがり、和の美しさと手作りの楽しさを味わえる、心豊かなひとときとなりました。



歴史講座「温故知新」 第4回学習会（11月14日）

32名の学級生が参加し地元地域の歴史を熱心に聞き入っておりました。

第1部 朝来神社豊原千恵氏による「朝来神社の由来」では、地元につながる神社の歴史や背景について詳しく語られました。豊原氏は実際に貴重な関連資料を持参され、参加者はそれらを手に取りながら学ぶことができ、歴史を身近に感じるひとときとなりました。

第2部では渥美英夫氏を講師に迎え、鎌倉から室町時代にかけての郷土史を学びました。戦国末期の葛西氏滅亡後の影響や周辺地域の歴史を振り返り、地域の歩みを深める時間となりました。



シフォンケーキ手づくり体験会（11月16日）

青年事業として、シフォンの家楽楽 野家数夫氏を講師に迎え、「シフォンケーキ手づくり体験会」を開催しました。大人向けの講座でしたが子どもと一緒に参加も可能としたことで、親子や友人同士など幅広い世代が集まりました。男性の参加もあり、誰でも気軽に挑戦できる場となりました。

卵を割り、黄身と白身を分けてメレンゲを作るときには「うまく膨らむかな」と真剣な表情。生地を型に流し込み、オーブンに入れると会場には甘い香りが広がり、焼き上がりを待つ時間も楽しいひとときとなりました。

完成したシフォンケーキは持ち帰り、各家庭で味わっていただきました。

